

Q & A

Q 最近の採用実績は？

A 平成26年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が52人、地方支分部局が58人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間のⅡ種試験合格者、一般職（大卒程度）試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

| | 地方支分部局採用者 | | |
|-----------|-----------|--------------------|------------------|
| | 本省採用者 | 管区行政評価局 行政評価事務所 | 総合通信局 総合通信事務所 |
| 24年度試験合格者 | 39 (11) | 8 (1) | 6 (1) |
| 25年度試験合格者 | 48 (12) | 33 (14) | 18 (4) |
| 26年度試験合格者 | 52 (18) | 40 (17) | 18 (8) |

★人数は各年度の国家公務員Ⅱ種採用者、国家公務員一般職（大卒程度）採用者数 ★カッコ内は女性の内数
※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 総務省ではどのような人材を求めていますか？

A 総務省は、行政管理・行政評価・地方自治・情報通信・郵政行政・統計・消防防災といった非常に幅広い分野の業務を行っています。したがって、こうした様々な分野の業務や社会経済情勢の急速な変化に、柔軟に対応が可能な人材を求めています。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とあなたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、多くの人は2～3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に応じて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A 女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、テレワークが可能な部署もあります。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務（例えば行政管理、地方自治、放送行政、情報通信行政、統計など）を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合があります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります（3～4ページもご覧ください）。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A 総務省では、平成26年度を例にとると、総務省独自の業務説明会（6月30日～7月8日）、人事院主催の合同説明会（全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞ヶ関OPENゼミ）等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成27年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

【総務省ホームページ 採用情報】----->
http://www.soumu.go.jp/menu_syokai/saiyou/index.html



【人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報NAVI】----->
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>



Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。

